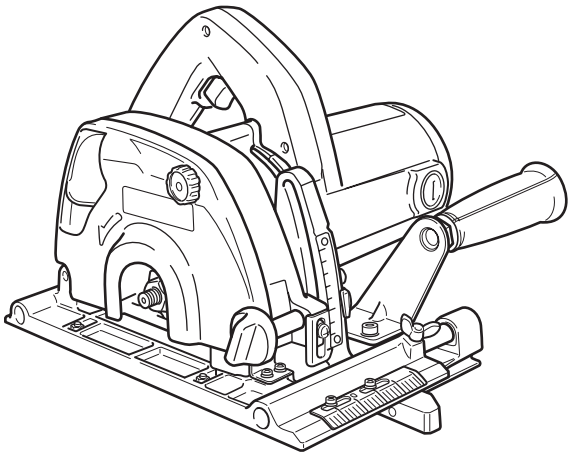
Hitachi Koki

日立小穴カッタ

21 mm PG 21BA

取扱説明書

このたびはブレーキ付日立小穴カッタをお買い上げいただき，ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり，正しく安全にお使いください。
お読みになった後は，いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



HITACHI

目　次

ページ

電動工具の安全上のご注意 …… 2

ブレーキ付小穴カッタの使用上のご注意 …… 5

各部の名称 …… 7

仕　　様 …… 7

標準付属品 …… 8

別売部品 …… 8

用　　途 …… 9

作業前の準備 …… 9

ご使用前に …… 11

作業前の調整 …… 12

溝の削り方 …… 14

カッタの取付け・取りはずし …… 15

保守・点検 …… 18

ご修理のときは …… 20

全国営業拠点 ……裏表紙

⚠警告，⚠注意，注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠**警告**」と「⚠**注意**」に区分していますが，それぞれ次の意味を表します。また，「**注**」の意味も説明します。

⚠警告 ： **誤った取扱いをしたときに，使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠注意 ： **誤った取扱いをしたときに，使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお，「⚠**注意**」に記載した事項でも，状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので，必ず守ってください。

注 ： **製品の据付け，操作，メンテナンスに関する重要なご注意。**

電動工具の安全上のご注意

- **火災，感電，けがなどの事故を未然に防ぐために，次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。**
- **ご使用前に，この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上，指示に従って正しく使用してください。**
- **お読みになった後は，お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。**

⚠ 警　告

① 作業場は，いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は，事故の原因になります。

② 作業場の周囲状況も考慮してください。
- 電動工具は，雨中で使用したり，湿った，または，ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

③ 感電に注意してください。
- 電動工具を使用中，身体を，アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
  （例えば，パイプ，暖房器具，電子レンジ，冷蔵庫などの外枠）

④ 子供を近づけないでください。
- 作業者以外，電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外，作業場へ近づけないでください。

⑤ 使用しない場合は，きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で，子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。

⑥ 無理して使用しないでください。
- 安全に能率よく作業するために，電動工具の能力に合った速さで作業してください。

⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
- 小形の電動工具やアタッチメントは，大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

⑧ きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は，回転部に巻き込まれる恐れがあるので，着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には，ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は，帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

⚠ 警　告

⑨ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は，保護メガネを使用してください。また，粉じんの多い作業では，防じんマスクを併用してください。

⑩ 防音保護具を着用してください。

- 騒音の大きい作業では，耳栓，イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

⑪ コードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って電動工具を運んだり，コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱，油，角のとがった所に近づけないでください。

⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。

- 加工する物を固定するために，クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で，両手で電動工具を使用できます。

⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりさせ，バランスを保つようにしてください。

⑭ 電動工具は，注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために，刃物類は常に手入れをし，よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は，取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し，損傷している場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- 継ぎ(延長)コードを使用する場合は，定期的に点検し，損傷している場合には交換してください。
- 握り部は，常に乾かしてきれいな状態を保ち，油やグリースが付かないようにしてください。

⑮ 次の場合は，電動工具のスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いてください。

- 使用しない，または，修理する場合。
- 刃物，トイシ，ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他，危険が予想される場合。

⑯ 調節キーやスパナなどは，必ず取りはずしてください。

- 電源を入れる前に，調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

⑰ 不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で，スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- さし込みプラグを電源に差し込む前に，スイッチが切れていることを確かめてください。

⑱ 屋外使用に合った継ぎ(延長)コードを使用してください。

- 屋外で使用する場合，キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの継ぎ(延長)コードを使用してください。

⚠ 警　告

⑲ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- 電動工具を使用する場合は，取扱方法，作業のしかた，周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは，使用しないでください。

⑳ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に，保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し，正常に作動するか，また，所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態，部品の破損，取り付け状態，その他，運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー，その他の部品交換や修理は，取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
  スイッチが故障した場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は，使用しないでください。

㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると，事故やけがの原因になる恐れがあるので，使用しないでください。

㉒ 電動工具の修理は，専門店に依頼してください。

- この製品は，該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は，必ずお買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターにお申し付けください。
  修理の知識や技術のない方が修理すると，十分な性能を発揮しないだけでなく，事故やけがの原因になります。

ブレーキ付小穴カッタの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが，ブレーキ付小穴カッタとして，さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警　告

① **使用電源は，銘板に表示してある電圧で使用してください。**
表示を超える電圧で使用すると，回転が異常に高速となり，けがの原因になります。

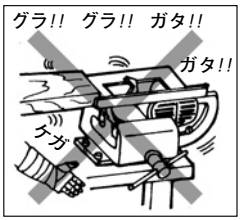
② **必ずアース（接地）してください。**
故障や漏電などのとき，感電の恐れがあります。
（詳細は，9ページの「1. アース（接地），漏電しゃ断器の確認」の項をご参照ください。）

③ **使用中は，サイドハンドルを付け，両手で本体を確実に保持してください。**
確実に保持していないと，けがの原因になります。

④ **切削する材料は，安定性のよい台に置いて作業してください。**
台が不安定ですと，けがの原因になります。

⑤ **本体を万力などで保持して，カッタを上向き（定置形）にした使い方はしないでください。**
カッタに手や身体が触れ，思わぬけがの原因になります。

⑤



⑥ **使用中は，カッタや回転部，切粉排出口に手や顔などを近づけないでください。**
けがの原因になります。

⑦ **使用中，機体の調子が悪かったり，異常音がしたときは，直ちにスイッチを切って使用を中止し，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。**
そのまま使用していると，けがの原因になります。

⑧ **誤って落としたり，ぶつけたときは，機体などに破損や亀裂，変形がないことをよく点検してください。**
破損や亀裂，変形があると，けがの原因になります。

⑨ **継ぎ（延長）コードを使用するときは，アース線を備えた3心キャブタイヤケーブルを使用してください。**
アース線のない2心コードですと，感電の原因になります。

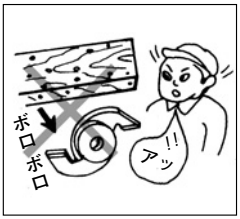
⚠ 注　意

① **カッタや付属品は，取扱説明書に従って確実に取り付けてください。**
確実でないと，はずれたりし，けがの原因になります。

② **カッタの取扱いには，手袋，布などで手を保護し，十分注意してください。**
不用意に扱うと，切り傷の原因になります。

③ **ブレーキが働くときの反発力に注意してください。**
機体を落としたりし，けがの原因になります。

④ **材料に釘などの異物がないことを確認してください。**
刃こぼれだけでなく，反発により思わぬけがの原因になります。



⑤ **回転するカッタで，コードを切断しないよう注意してください。**
感電の恐れがあります。

⑥ **回転させたまま，台や床などに放置しないでください。**
けがの原因になります。

⑦ **指定以外の刃物（丸のこ刃，チップソーなど）での切断作業はしないでください。**
丸のことしての保護装置がなく，けがの原因になります。

各部の名称

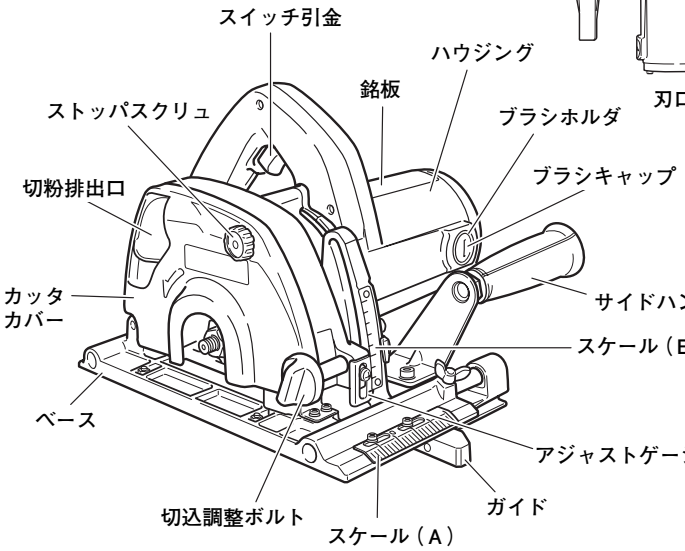


図１－１

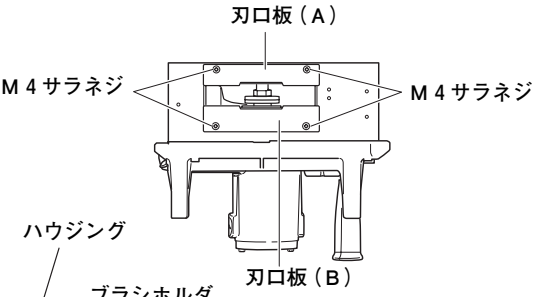
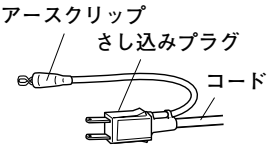


図１－２



仕　　様

使用電源	単相交流 50／60 Hz　共用　電圧 100 V
能力	切削幅 3 ㎜～ 21 ㎜
	切込み深さ　11 ㎜（標準）　24 ㎜（最大）
カッタ寸法	外径 112 ㎜～ 125 ㎜×刃幅 3 ㎜～ 21 ㎜×穴径 15 ㎜
全負荷電流	11 A
消費電力	1050 W
無負荷回転数	8000 min^{-1} {8000 回／分}
モーター	単相直巻整流子モーター
質量	4.0 kg（コード，ガイドを除く）
コード	アースクリップ付３心キャブタイヤケーブル５m

標準付属品

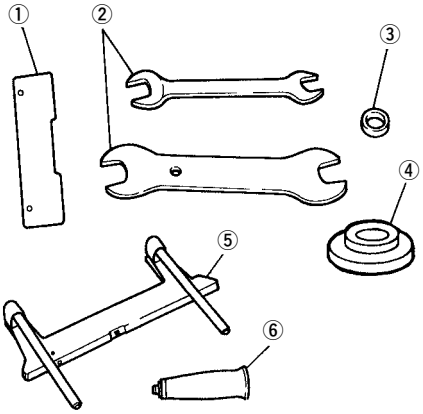


図　2

① 刃口板（B）……1枚
② スパナ ……2個
③ デスタンスピース ……1個
（ボス幅6㎜以下のカッタの取付けに使用します。）
④ ワッシャ（C）……1個
（3～21㎜自在溝切カッタの取付けに使用します。）
⑤ ガイド ……1個
⑥ サイドハンドル ……1個

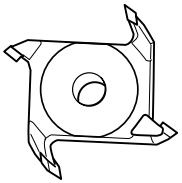
別売部品

……（別売部品は生産を打ち切る場合がありますので，ご了承ください。）

1．け引きカッタ

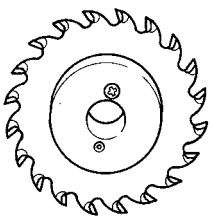
（単位㎜）

カッタの種類	外径	刃幅
け引きカッタ	120	3　4.5　5.5　6　7.5　9　10.5　12　15　18　21



注 **• 刃幅15㎜以上のけ引きカッタをご使用のときは，1回の切込み深さは11㎜までとしてください。**
また，送り速さは3㎝毎秒以下とし，モーターに無理をかけないように加減してください。

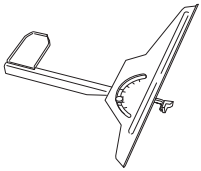
2．自在溝切カッタ……切削幅がダイヤル目盛りで調整できます。



（単位㎜）

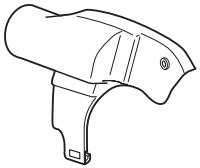
外径	刃数	切削幅調整範囲
120	24枚刃	3～15
	30枚刃	3～21

3．造作ガイド（B）



幅広材に横溝を入れるときに，ご使用ください。

4．集じんカバー



集じんカバーは，集じん機で集じんする場合に使用します。

取付け方は，部品に付いている説明書をお読みください。

用　　途

○カッタによる木材の溝切作業

⚠ 注　意
• **指定以外の刃物（丸のこ刃，チップソーなど）での切断作業はしないでください。**

作業前の準備

作業前に次の準備をすませてください。

1．アース（接地），漏電しゃ断器の確認……

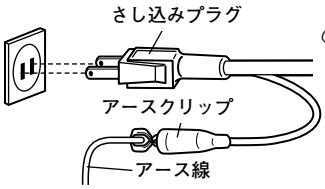
ご使用にさきだち，本機が接続される電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電しゃ断装置（以下，漏電しゃ断器と言います）が設置されていることを確認してください。

また，本機は必ずアース（接地）をしてください。定格感度電流 15 mA以下，動作時間 0.1 秒以下の電流動作型の漏電しゃ断器が設置されている電源でお使いになる場合でも，より安全のためにアースされるようおすすめします。

アースをするときは，次ページのアースクリップをお使いになると便利です。

アースクリップ，アース線は，念のために異常のないことを確認してからご使用ください。テスターや絶縁抵抗計などをお持ちでしたら，アースクリップと本機金属外枠との間の導通を確認してください。

地中に接地極（アース板，アース棒）を埋め，アース線を接続するなどの接地工事は，電気工事士の資格が必要ですので，お近くの電気工事店にご相談ください。なお，アース線をガス管に取付けると爆発の恐れがありますので，絶対にしないでください。



漏電しゃ断器やアース（接地）については，次の法規がありますので，ご参照ください。
労働安全衛生規則（第333条，第334条）
電気設備の技術基準（第18条，第28条，第41条）

2．継ぎ（延長）コード……

⚠ 警　告
• **継ぎ（延長）コードは，損傷のないものを使用してください。**

電源の位置がはなれていて継ぎコードが必要なときは，製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため，電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

次の表は，使用できるコードの太さ（導体公称断面積）とその最大長さを示します。

導体公称断面積	最大長さ
1.25 ㎟	10 m
2 ㎟	15 m
3.5 ㎟	30 m

必ずアース（接地）できる接地用の1心をもつ3心キャブタイヤケーブルをお使いください。

3．作業台（木製）を用意する……

作業に合ったしっかりした作業台をご用意ください。作業台がぐらぐらしていますと，けがの原因になります。作業台は安定した状態に設置してください。

○騒音防止規制について
騒音に関しては，法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう，規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ，しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に

⚠ 警　告

- **ご使用前に次のことを確認してください。1～4項については，さし込みプラグを電源にさし込む前に確認してください。**

1．使用電源を確かめる……

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に高速になり，機体が破壊する恐れがあります。また，直流電源で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく，事故の原因になります。

2．スイッチが切れていることを確かめる……

スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源にさし込むと，不意に起動し，思わぬ事故のもとになります。スイッチはスイッチ引金（図1参照）を引くと入り，離すと切れます。スイッチの引金を引き，離したときスイッチ引金が戻ることを必ず確認してください。

3．カッタの取付け……

カッタの取付けは，15ページの「カッタの取付け・取りはずし」の項をご参照ください。カッタの締付けが不完全ですと，けがの原因になります。十分に締付けられているかどうか，点検してください。

4．切込調整ボルトの締付けを確かめる……

切込調整ボルト（図1－1参照）の締付けがゆるいと使用中に切込み深さが変わりますので締付けを確かめてください。

5．電源コンセントの点検……

さし込みプラグをさし込んだとき，ガタガタだったり，すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになりますと，過熱して事故の原因になります。

6．ブレーキがかかることを確かめる……

本機はスイッチを切ると同時にブレーキがかかる構造になっています。

ご使用前に，ブレーキがかかることを確認してください。万一正常に作動しない場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理をご用命ください。

7．サイドハンドルの取付け……

ご使用前にサイドハンドルを本体に取付けてください。（図1－1参照）

作業前の調整

⚠ 警　告

• 万一の事故を防止するため，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

1．刃口板の調整……

本機のベースには，溝部のふち欠けを防ぎ，ベース刃口幅が調整できる刃口板(A)と(B)が付いています。工場出荷の際は，ベース刃口幅を最大にして取付けてありますので，ご使用の際は次によりカッタの刃幅に合わせて調整してください。

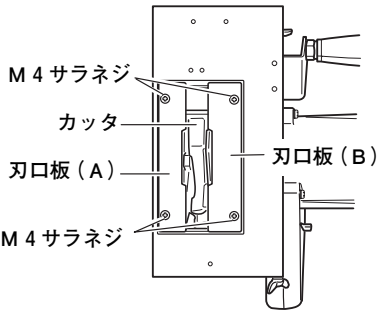


図　3

(1) 本体をうら返し，刃口板(A)および(B)を固定しているＭ４サラネジ４本をゆるめます。

(2) 刃口板(A)を，カッタの刃先側面に当たらない程度に移動させ，サラネジ２本で締付けます。

この際，カッタを手で回し，刃口板(A)の前後ともカッタに当たらないことを確認してください。

(3) 刃口板(B)も刃口板(A)と同じ要領で調整し，サラネジ２本で締付けます。

(4) 最後にもう一度カッタを手で回して，カッタが刃口板(A),(B)に当たらないことを確認してください。

注 • カッタの刃幅が小さく，刃口板(A)を移動してもカッタ側面とのスキマが大きい場合には，付属のもう１枚の刃口板(B)と交換してください。

2．切込み深さの調整……

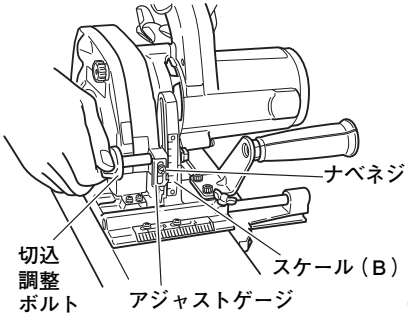


図　4

(1) アジャストゲージとスケール（B）の目盛り0の位置を，次により実際の切込み0の位置に合わせます。

○ 切込調整ボルトをゆるめ，本体を上下に動かし，カッタの刃先とベース底面が一致する位置で切込調整ボルトを締付け，本体を固定します。

○ アジャストゲージを止めているナベネジをゆるめ，アジャストゲージをスケール（B）の目盛り0に合わせナベネジを締めます。

(2) 次に，切込調整ボルトをゆるめ，アジャストゲージをスケール（B）の切削する溝深さの目盛りに合わせます。スケール（B）の1目盛りで，切込み深さは3㎜変化します。

(3) 切込調整ボルトを十分に締付けます。

注 **• 上記の(1)の調整は，初めて本機をご使用になるときに行なえば，2回目以降は不要です。ただし，外径の異なるカッタをご使用のときや，カッタが摩耗したときには，再調整してください。**

3．切込み位置の調整……

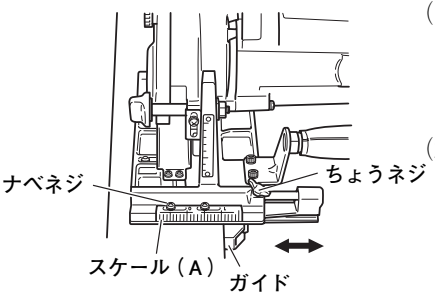


図　5

(1) スケール（A）の目盛り0がカッタの側面と一致するよう，スケール（A）を止めているナベネジ2本をゆるめて調整してください。

(2) ベース前後のちょうネジをゆるめて，ガイドを動かし所定の位置に固定します。
スケール（A）の1目盛りは3㎜です。

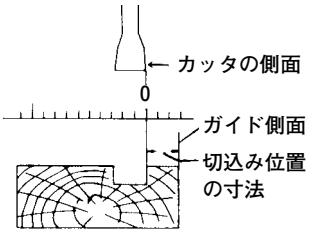


図　6

溝の削り方

⚠ 警　告

- **カッタを上向き，横向きにした使い方はしないでください。**
- **回転中のカッタには手や身体を近づけないでください。**

⚠ 注　意

- **使用中にカッタが止まったり，異音を発したときなどには，直ちにスイッチを切ってください。**
- **回転中のカッタにコードを接近させないよう十分ご注意ください。**
- **運搬は必ずカッタが止まってからにしてください。**
- **運搬のときには，スイッチ引金に指をかけないでください。**
  不意にスイッチが入り，思わぬけがの原因になります。
- **作業中断時や作業後は，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。**

1．スイッチの操作……

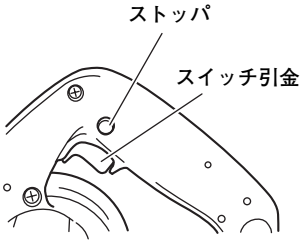


図　7

スイッチ引金を引くとスイッチが入り，指を離すと切れます。引金を引いたままでストッパを押すと，指を離してもスイッチは入ったままになります。この状態から再び引金を引くとストッパがはずれ，スイッチは切れます。

2．普通に削るときは……

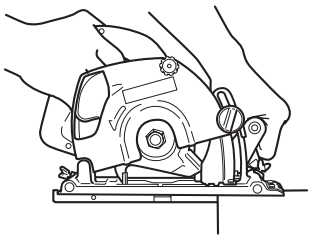


図　8

⑴ 木材の上にベース先端をのせ，カッタが木材に触れない状態でスイッチを入れます。(図８)

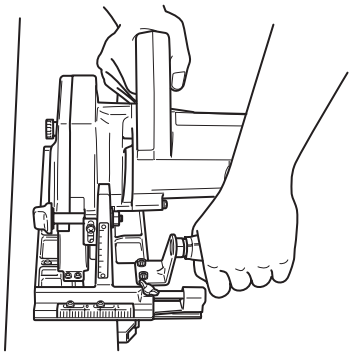


図　9

(2) 回転が上昇してから，ガイドが木材の側面に当たるように押さえながら本体が木材の上を平らに動くよう静かに前に進めて削ります。削り終るまでそのままの状態を保つようにしてください。

特に木材の端に小穴をつく場合は本体が傾かないようにサイドハンドルをしっかり握ってささえてください。(図 9)

3．途中から溝を切る場合には……

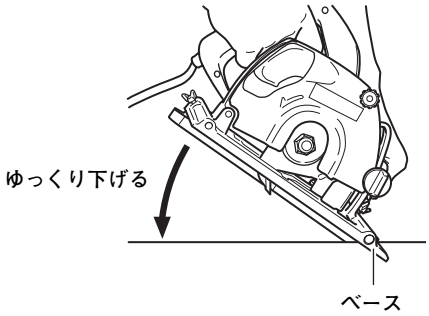


図　10

(1) ベース先端を木材にのせ，後端を持ち上げてカッタを削り始める位置に合わせます。

(2) ガイドを木材の側面に当てておき，カッタが木材に触れない状態でスイッチを入れます。

(3) 回転が上昇してから，ベース全体が木材にのるまで本体をゆっくり下げて，静かに前へ進めます。

カッタの取付け・取りはずし

⚠ 警　告

• 万一の事故を防止するため，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

カッタの取付けは，次により行ないます。取りはずす場合は，取付けと逆の手順で行なってください。

207
部品コード　C99002003　N

1．け引きカッタの取付け……

⚠ 注　意

• 市販のカッタを使用するときは，カッタがベース刃口に当たらないことを必ず確認してください。

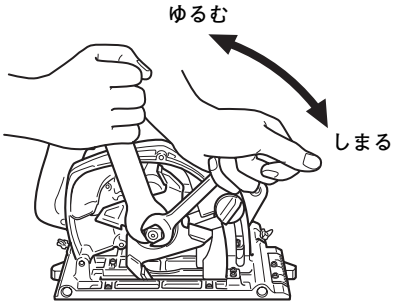


図　11

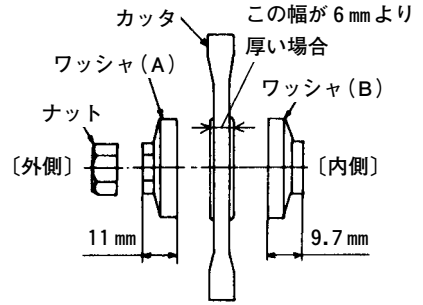


図　12

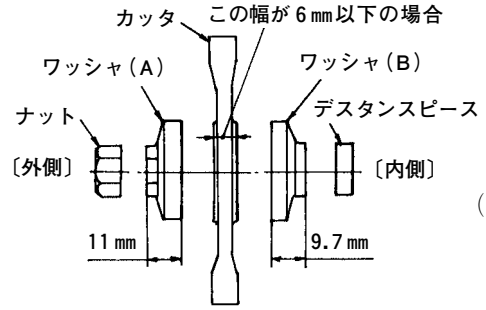


図　13

(1) 切込調整ボルトをゆるめ，ベースを一番下（切込み量0）に下げてから，ストッパスクリュをゆるめカッタカバーをはずします。

(2) 付属のスパナ２本を使いナットをはずし，続いてワッシャ（A）もはずします。

(3) スピンドルやワッシャなどについている切りくずをよくふき取ってください。

(4)(イ) ボス幅が６㎜より厚いカッタの場合カッタの向きに注意し，図12のように，カッタ→ワッシャ（A）→ナットの順で，スピンドルに取付けます。

(ロ) ボス幅が６㎜以下のカッタの場合刃幅が3㎜，4.5㎜，5.5㎜，6㎜のけ引きカッタ，又は市販のカッタでボス幅が６㎜以下の場合には，図13のように，ワッシャ（B）の内側に付属のデスタンスピースを入れてください。

(5) 付属のスパナ２本で，ナットを十分に締付けます。

2．自在溝切カッタの取付け……（け引きカッタの取付けと共通の部分は）

⚠ 注　意

• 市販の自在溝切カッタを使用するときは，カッタがベース刃口に当たらないことを必ず確認してください。

自在溝切カッタとは，ダイヤル目盛りの調整で切削幅を変えられるカッタのことです。調整範囲は3～15㎜のものと，3～21㎜のものがあり，取付け方が異なります。

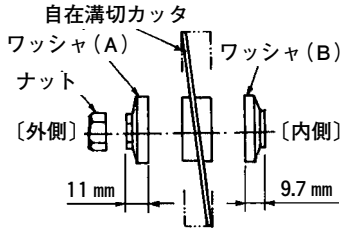


図　14

(1)　3～15㎜自在溝切カッタの場合

図14のように，ワッシャ(B)→自在溝切カッタ→ワッシャ(A)→ナットの順に取付け，ナットを十分に締付けます。

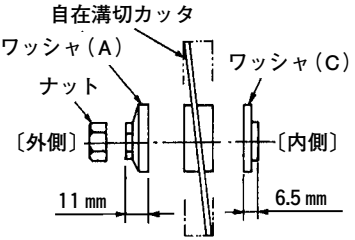


図　15

(2)　3～21㎜自在溝切カッタの場合

図15のように，ワッシャ(C)→自在溝切カッタ→ワッシャ(A)→ナットの順に取付け，ナットを十分に締付けます。

注 • 自在溝切カッタをご使用の場合，1回の切込み深さは11㎜までとし，11㎜以上のときは数回に分けて切削してください。また，送り速さは，切削幅15㎜以下の場合は5cm毎秒以下，切削幅15㎜以上では3cm毎秒とし，モーターに無理がかからないよう，カッタの切れ味や木材の硬さにより加減してください。

保守・点検

⚠ 警　告

- **点検・手入れの際は，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。**

1．カッタの点検……

⚠ 注　意

- **切れ味の低下したカッタをそのまま使用しないでください。切削時の反力が大きくなり，思わぬけがの原因になります。**

カッタの切れ味が悪くなったものをそのままご使用になっておりますとモーターに無理をかけることになり，また能率も落ちますから早めに研磨をするか，新品と交換してください。

2．各部取付けネジの点検……

各部取付けネジでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締めなおしてください。

ゆるんだままお使いになりますと，けがなど事故の原因になります。

3．カーボンブラシの点検……

モーター部には，消耗品であるカーボンブラシを使用しております。

カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと，モーターの故障の原因となりますので，長さが摩耗限度（6㎜）ぐらいになりましたら新品と交換してください。

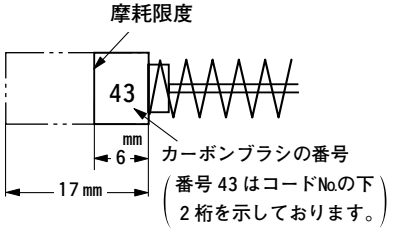


図　16

また，カーボンブラシはゴミなどを取り除いてきれいにし，ブラシホルダ内で自由にすべるようにしておいてください。

注

- **新品と交換の際は，必ず図示の番号（43）の日立カーボンブラシを使用してください。**
  指定以外のカーボンブラシを使用すると，ブレーキがかからないことがあります。

交換方法　カーボンブラシは，マイナスドライバーなどでブラシキャップ（図1－1参照）をはずしますと取り出せます。

4．モーター部の取扱いについて……

モーター部の巻線部分は本機の心臓部ともいえます。巻線部分にキズをつけたり，洗油や水をつけたりしないよう十分注意してください。

注 **• モーター内部にゴミやほこりがたまると，故障の原因になります。使用後は，モーターを無負荷運転させて風を送りますと，ゴミやほこりの排出に効果があります。**

5．製品や付属品の保管……

使用しない製品や付属品の保管場所として，下記のような場所は避け，安全で乾燥した場所に保管してください。

- ○お子様の手が届いたり，簡単に持ち出せる場所
- ○軒先など雨がかかったり，湿気のある場所
- ○温度が急変する場所
- ○直射日光の当たる場所
- ○引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

} このような場所には保管しない。

ご修理のときは

この機体は，厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は，決してご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

ご不明のときは，裏表紙の営業拠点にご相談ください。

その他，部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら，ご遠慮なくお問い合わせください。

※（外観などの一部を変更している場合があります。）

メ　　モ

メ　　モ

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　　月　　日	販売店
製造番号(No.)	電話番号

■ 日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

● 全 国 営 業 拠 点

第一営業部	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティA棟） ☎(03) 5783-0626(代)
北海道支店	〒060-0003	札幌市中央区北三条西四丁目（日生ビル） ☎(011) 271-4751(代)
東北支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東三丁目3番36号 ☎(022) 288-8676(代)
東京支店	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティA棟） ☎(03) 5783-0629(代)
中部支店	〒460-0008	名古屋市中区栄三丁目7番13号（コスモ栄ビル） ☎(052) 262-3811(代)
北陸支店	〒920-0031	金沢市広岡二丁目13番37号（ST金沢ビル） ☎(076) 263-4311(代)
関西支店	〒530-0001	大阪市北区梅田二丁目6番20号（スノークリスタル） ☎(06) 4796-8451(代)
中国支店	〒730-0011	広島市中区基町11番13号（第一生命ビル） ☎(082) 228-0537(代)
四国支店	〒761-0113	高松市屋島西町字百石1981 ☎(087) 841-6191(代)
九州支店	〒813-0062	福岡市東区松島四丁目8番5号 ☎(092) 621-5772(代)

● 電動工具ご相談窓口 ── お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター　フリーダイヤル 0120-20 8822（無料）

※携帯電話からはご利用になれません。（土・日・祝日を除く　午前9：00～午後5：00）

日立工機株式会社

部品コード　99513903　N